

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



# 「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 1月22日(月) 発行人：校長 森内 秀学

## 「思い」を「かたち」に～大谷 翔平選手の場合～



と、右のような大渋滞になりました。無理ありません。

お待たせしました。とうとう我が時津小にも、あの、大谷翔平選手からグローブが届きました(左)。年末にニュースで取り上げられているのをうらやましながら見ておりましたが、いざ届くと、届いた喜びと同時に、「本当にいただけるんだ…」という、感動にも似た染み入る気持ちがありました。

子どもたちはもう、大喜び。展示して放送した



感動したのは下校の時です。校長室を出ると、クロームブックで撮影している子がいました(左)。「どうしたの?」と聞くと、「時津小にも来たよって、おうちの人に見せるんです。」とのこと。優しい子ですね。おかげで私もこの紙面をすぐ書かなければ!と刺激を受けました。

グローブと一緒に入っていた大谷選手のメッセージ(裏面)には、寄贈することを決めた理由として、「野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだから」と書かれてありました。まさに、素敵な「感謝のおすそ分け」です。

大谷選手は、野球に親しんで欲しいとは思っているでしょうが、全員が野球選手になることを望んでいるわけではないでしょう。ただ、「時津町に住むあなたの夢のことも、ちゃんと気にかけているよ」という大谷選手の「思い」は、グローブを贈るという「かたち」によって、きっと子どもたちの胸に届くはず。今日から順番に触れる機会をつくり、その後、せっかくなので、体育の担当と相談しながら使わせてみたいと思います。

## 地震を想定した避難訓練

日々、地震の怖さや事前対策の大切さを実感しているところですが、本校でも18日(木)に標記の訓練を実施しました。

本校は耐震工事が終わっていますので、授業中の地震なら、頭を守って校舎内に留まる方が安全な場合があります。

また、低い津波なら、外に逃げるより上の階に避難した方が安全な場合があります。

でも、昼休みや学校外だったら、どう考えてどのように避難すれば助かるのか…。訓練後には、そんなことも考えさせました。家庭でもぜひ、事前準備を。



学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。  
貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平